



friendship force
AICHI



Newsletter

11 月 9 日～14 日にかけて、グレーター・ハリスバーグ、セントラル・ノース・カロライナ両クラブとの交換を行った。再会を喜びあうとともに今回の相互訪問により一層の親交が深まった。これにより平成 21 年度の交換は全て完了した。

平成 22 年度は 4 回の交換が計画されている。FF 愛知は、新年から新体制が発足する。役員会で加藤紀子さんが新会長に推薦されました。一層活発なそして充実した交流活動を推進して行きましょう。

Greater Harrisburg club & Central North Carolina club 受入交換を終えて

ED 鷹野晴子

Harrisburg はペンシルヴェニア州の州都、Central North Carolina はタバコ産業が栄えた州で 2 年前に愛知クラブが訪れた美しい都市です。

今回の両クラブの受入はたいへん嬉しいものでした。久しぶりに当時のメンバーが集まり、歓迎プログラムを検討しました。良い受入交換をしたいという気持は他の会員にも広がり多くの会員の協力によってプログラムが進められました。

今回のアンバサダーは 13 人、ホストは 8 人中 6 人が 2 年前の渡航者。今回の交換で新たに友情の輪が広がりフレンドシップフォースらしい温かい交流が出来たことを心より皆様に感謝いたします。

受入交換は会員が団結する時で、海外の友人から刺激を受け新たな友情を築く時です。年 2 回の受入は多くの会員を巻き込み、クラブを活性化さ

せる、FF の活動を続けていく上で大切な行事だと思います。

私は今回が 5 度目の受入 ED ですが、毎回 ED をする度に失敗があります。今回も例外ではありませんがスタッフに支えられました。ED の Peter は交換プログラムが全て担当者によって行われていることが分かり、毎晩彼と取り交わす会話が決まってきました。「今日も楽しかったよ。愛知クラブはとても良くオーガナイズされているね。素晴らしい」「楽しんでもらえて嬉しい。スタッフに伝えます」私が ED をした時、はたして毎晩 ED にお礼を言ったかな？とふと気になりました。

アンバサダー、愛知の皆さん双方が交換を楽しんでくださったことを願います。皆さまご協力ありがとうございました。

受入交換は各プログラム担当者の周到的な準備と多くの協力者によって全てとり行われます。

11/10 ウェルカム ピクニック： 谷川智恵子 安藤龍蔵 沢井由美子 山田晴久 [参加人数 45]

11/11 企業訪問： 橋本忠幸 西村貴美子 協力：塩谷増夫 [参加人数 21]

11/12 高山バスツアー： 竹内節子 稲葉千賀子 協力：酒井直美 [参加人数 33]

11/14 フェアウエル パーティー：安藤康彦 沢野井シゲ子 [参加人数 50]

アンバサダーとホスト

Greater Harrisburg and Central North Carolina

FFの仲間に支えられて

小田さえ子

ペンシルバニアからのアンバサダー、ピーターは 81 歳。お会いする前は、ご高齢であることが心配でしたが、とてもお元気でした。それもそのはず、彼の趣味はジョギングとサイクリング。週に 3 日ほど、家の近くのサイクリングロードを 30 km 位走るとか。歩く速度も速く、一緒に歩くと、私が小走りになってしまうほどのです。今年の 5 月に奥さんが亡くなり、初めて FF の旅行に参加されました。お一人暮らしですが、太らないように、食事にも気を付けておられます。

今回は、新しく FF 会員になられた山口晴久さんが、1泊2日のホストをしてくださいました。ホストとして、1週間のうち、朝1回でものんびりできるのは、嬉しかったです。ピーターより若い山口さんですが、「ピーターから、元気をもらった」と喜んでおられました。また、英語の苦手な夫が、一生懸命、ピーターの話し相手をしてくれたりしたことにも感謝したいと思います。



Mr. Peter Calcagno と
小田さん



Ms. Ophelia Jones
Mr. Robert Jones と
大崎さん



Mr. Denis Meany と
安藤さん



Ms. Jean Behse
Mr. Bill Tomson と
土居さん



Ms. Nancy Peiffer
Mr. Peter Peiffer と
鷹野さんご夫婦



Ms. Marcia Meis
Mr. Paul Meis と
安藤さんご夫婦



Ms. Carol Andresen
Mr. Fred Andresen と
橋本さんご夫婦



Ms. Lorrie Guess と
仲村さん

今回のアンバサダーは独身で若い女性でした。そのせいか？いろんなことに興味があり、特に人と話すことが好きなようでした。

彼女にとっては初めての経験（太鼓、内掛け、琵琶、お琴、すき焼き、タコ、イカ）がたくさんできたと思います。

仲村郁子

思い出のアレシム

Greater Harrisburg and Central North Carolina



11/10 名古屋城見学



11/10 ウェルカムピクニック



11/11 トヨタ産業技術記念館見学



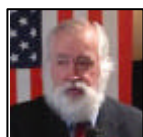
11/12 高山バスツアー



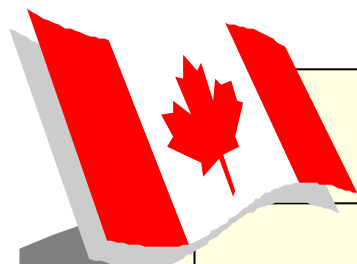
11/14
フェアウェルパーティ

愛知での交換を終えたアンバサダーはその後、京都、奈良、箱根、富士、日光、東京、等、国内ツアーをし、帰国しました。大変長い旅になりました。

ED Peter からのメール



It was expressed many times that the best part of the trip was the Homestay. Everyone enjoyed their hosts immensely. The experience was a good one for everyone. We talked about the professional way your club conducted the Homestay and whole visit. We could not get over the wonderful way we were treated. Thank you so much !



2010年カナダ交換のお知らせ

ED 堀夏江 nacchanh@aol.com

Tel/Fax 0561-82-1958

訪問先：Greater Hamilton & Burlington, Canada

交換期日：4月21日～4月29日

費用：1. 基本航空運賃 103,000 円

(燃料サーチャージ、空港税 別途必要)

2. 交換フィー・FFI フィー \$115

・ホスティングフィー \$100

・ローカルフィー \$25

3. オプショナルツアー 別途必要

申込方法：メール、電話、ファックスで ED まで連絡

申し込み締め切り：2010 年 1 月 15 日

* 交換後ニューヨーク行きを予定しています。
その他を訪問希望の方はお申し出ください。

中部ブロック会議

6 月 27 日・岐阜で開催

中部ブロック会議が、6 月 27 日、金華山を望む岐阜グランドホテルで開催されました。

今年の会議は自己紹介を止めにして、協議に十分時間を充てて話し合いがされました。

岐阜クラブからの「共同渡航の申し合わせについて」は、共同渡航者の ED への事務経費等の負担について話し合われました。また、共同渡航の申し込みに関しては、会長を通すことと主催クラブの規約に準ずることなどが確認されました。

奈良クラブからの「国内クラブ間の交流、ブロック会議と日本大会の持ち方について」は、国内クラブ間交流の報告とその是非が話



し合われました。ブロック会議の隔年実施という動きがある中、採決の結果、毎年実施することと来年の大阪開催が決まりました。

次回、日本大会を開催する奈良クラブから、大会の概要説明がありました。また、日本大会の代表者会の開催は毎年、全体会議は隔年にしてはどうかという意見が奈良クラブから出されましたが、保留になりました。最後に、各クラブからの近況報告がありました。

岐阜クラブの計らいで、屋形船で長良川を上り、陽の沈むのを待って千三百年来の古式ゆかしい鵜飼とその総がらみが見られました。

FF愛知 夏の親睦会に参加して

尾村 忠雄

8 月 22 日、FF 愛知、夏の親睦会に参加しました。メンバーの方々とお会いするのは、今年の 3 月ニュージーランド交流に参加して以来です。

会場の場所は、名古屋駅の近くにある国際センタービルの 26 階にある東天紅というお店でした。このお店からは名古屋の中心街が眼下に広がり、とても素晴らしい眺めです。

会長の挨拶の後、自己紹介から始まりました。今回がはじめての新入会員の方また、会始まって以来の大ベテランの方々もいます。私も入会して 3 年目に入りますが、多様なメンバー構成で、バランスの取れた会だなとの印象を受けました。その後、ウクレレの演奏が始まり、何曲かのハワイアン音楽が演奏されました。演奏の最後は「我は海の子」を全員で合唱しました。

この会の特徴は色々な趣味をお持ちの方がおられ、また、その腕前もプロ級の方も多いようです。もちろん今回のウクレレ演奏もメンバーの方達で、会場を大いに盛り上げて頂きました。

最後に FF の歴史が DVD で紹介され「1977 年に時のアメリカ大統領ジミー・カーター氏の推奨により始まり、今では 60 ヶ国にまで広がっている。」といった内容が紹介されました。これからは益々この会が発展することを願って一本締めで閉会となりました。



FF の歴史を紹介



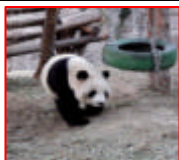
ダンスをする人も現れました



おいしい料理に舌鼓



ウクレレの演奏



FF愛知・北京3泊4日の旅

安藤 龍藏

今年、沖縄で行われる予定の FF 世界大会が、新型インフル感染拡大のため中止になりました。そこで、世界大会が予定されていた 11 月 19 日～22 日をつかって、FF 愛知、初の親睦北京旅行に催行者数 20 人で行ってきました。

北京に到着。初日は、加藤さんの娘さんが居る外国人公寓を訪問しました。通された会議室では、「健康」が花言葉のカーネーションと中国の果物、餃子、包子で盛大な歓迎を受けました。そのあと、元共同通信社勤務、現在、環境ジャーナリストの京極さんから、ここ 20 年間の中国社会の変化、中国の抱える環境問題等に関する興味深い話を聞き、続いて、在住の土屋さんが中国茶の実演をしてくださいました。夜は、「全聚徳」での北京料理の北京ダックに舌鼓を打ち、北京金融国際ホテルへと向かいました。

二日目からは北京観光。ガイドの趙新さんは、北京外語大卒のガイド歴十年のベテラン。中国人から見た説明も交えて、流暢な日本語で中国や北

京の案内をしてくれました。写真撮影で同行した施さんは、高卒の 19 歳の女性。月給八千元。厳しい生活の糧とはいえ、空港間近になってのアルバム写真販売の手口は、私の心にしこりを残しました。

北京は五度目ですが、八達嶺の雪を残して連なる山々とうねりながら続く城壁、? 和園の空に朝日を浴びて揚がる風と凍った湖面を渡る一つの人影、皇帝が舟で通った運河のある天安門と故宮に続く道、景山から見た故宮、夕暮れ为天壇を背景にした皆の輝いた笑顔、それらは変化する北京と変化する自分が再会した堪らない感動の一つ一つでした。耳元で「あ～、来てよかった」「また、こんな旅がしたい」という呟きを聞きました。私を含め、参加された皆さんの率直な気持ちだったに違いありません。企画してくださった加藤紀子さんに感謝します。ありがとうございました。

中華料理を堪能



北京ダック



しゃぶしゃぶ



ジャージャー麺



刀削麺



中国茶の実演



北京市内



加藤紀子さんの娘さん一家

北京の旧所・名跡

天安門広場



故宮



万里の長城



胡同名物人力車



* **事務局からのお知らせ** ***2010 年 FF 愛知の予定**

1 月 30 日 (土) FF 愛知総会 & 新年会

2 月 27 日 ~ 3 月 1 日 日本大会 主催奈良クラブ

参加者: 富岡達也 加藤八郎 白木裕己 安藤龍蔵 橋本忠幸

山田晴久 久保三郎 土居陽子 鷹野晴子 沢野井シゲ子

加藤紀子 加藤孝子 西村貴美子

3 月 Friendship Force Day

4 月 受入[Cairo Egypt]

ED: 土居陽子

4 月 21 日 ~ 4 月 29 日 渡航[Greater Hamilton and Burlington] ED: 堀 夏江

8 月 渡航 [Noord, Netherlands]

ED: 加藤紀子

10 月 受入 [Solothurn, Switzerland]

ED: 谷川智恵子

10 月 世界大会 Washington DC

2009 年 FF 愛知後半の活動

11 月 9 日 ~ 15 日 受入[Greater Harrisburg & Central North Carolina] ED 鷹野晴子

ホスト: 橋本忠幸 土居陽子 小田さえ子 仲村郁子 大崎朱美

安藤龍蔵 安藤康彦 鷹野晴子

11 月 19 日 ~ 22 日 北京旅行 担当: 加藤紀子 参加者 20 人

12 月 14 日 ~ 15 日 忘年会 蒲都市西浦温泉

12 月 19 日 加藤八郎さんによる英語の勉強会 2009 年度最終回

[Japan FAQ]を読んで話し合う

受入交換において

鷹野晴子

受入交換ではいろいろなところで人知れず交換を支えてくださる方々がいます。企業見学の時、いつも知多方面にステイするアンバサダーの送迎をくださる塩谷増夫さん、もう何回企業見学をし、アンバサダーとランチを共にされたことか。バスツアー担当の竹内さんと稲葉さんはいつもアンバサダーのために美しい菜を作成して参加者全員にプレゼントして下さいます。菜の中には当日の行程、これは参加する人にとっても親切です。それに訪問先のインフォメーションはたいへん参考になります。男性会員のフットワークが軽くいつでも協力して下さるのも有難い。今回プログラム担当をお願いした方々はすぐに気持ち良く OK の返事を下さり、すべてのプログラムをとりおこなって下さいました。

ED の仕事は年々楽になってきています。毎朝気軽な気持ちで家を出ることができました。男性の会員にはこれからは協力する側でなく ED に挑戦して頂きたい。理由 男性の視点で交換を見直して頂くのも魅力ですし家事のことを気にせず 1 週間外出できるからです。どうぞ ED として交換を楽しんでください。

編集後記

年の後半は、東部アメリカの受入、懇親の中国旅行と盛りだくさんでした。

アメリカからの皆さんとは向こうへ伺ったときの人もらして、とても和やかに親しく交換でき、親密度がより深まったと思います。

早いもので、もう年末を迎えます。出来るだけ多くの方にニューズレター参加を心がけた結果、突然の原稿依頼をお願いしたこともありましたが、それにも拘らず、快く引き受けていただいた皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。 < 橋本 >

編集・発行 : FF 愛知

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/FF-Aichi/>

事務局 : ☎470-2101

愛知県知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37

Tel & Fax 0562-83-8341

鷹野晴子